

令和3年度第3回 新発田市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 令和3年12月27日（月）午前10時～午前11時00分

2 場 所 新発田市役所5階 会議室501、502

3 出席者

委 員	所属団体・職名	備考
伊藤 純一会長	新発田市副市長	
加藤康弘副会長	新発田商工会議所 事務局長	
齋藤 亘委員	新潟交通観光バス（株） 新発田営業所長	
庭山奈津子委員	新発田市ハイヤー・タクシー協会会長	
武田 達也委員	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所計画課長	
高橋 秀典委員	新発田地域振興局地域整備部長	代理出席：計画調整課 神田課長
穴水 雄二委員	新発田市維持管理課長	
金塚 傑之委員	新発田警察署 交通課長	
小島 修委員	NPO 法人七葉理事長	
小野 孝男委員	新発田市自治会連合会	
渡辺 肇委員	川東地区自治連合会	
齋藤 啓一委員	松浦地区公共交通協議会	
島谷 尚之委員	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局首席運輸企画専門官	
吉田 誠吾委員	新発田地域振興局企画振興部長	代理出席：地域振興課 河村課長
早川 英雄委員	日本労働組合総連合会新潟県連合会下 越地域協議会事務局長	代理出席：久志田特別 役員

事務局（市民まちづくり支援課）

渡邊誠一課長、太田貴輝室長、田中俊介係長、蒲木みゆき係長、天野なつみ主事、小田切達也主事

## 4 会議概要

### (1) 開 会

### (2) 会長挨拶

おはようございます。

本日はご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

1年で一番忙しい師走に足を運んでいただき今年は本日を含めて3回の会議と、その他に2回の書面協議のご協力をいただいた。また、今月上旬には当市の小学校関連で新型コロナウイルスの集団感染が確認されたが、対策を講じ予定通りに開催させていただいている。

委員の皆様には感謝を申し上げる。

さて、本日はバス年度が10月で切り替わり、その前年度の事業評価が議題となる。当市のバス利用状況として昨年の緊急事態宣言下の落ち込みから少しずつは回復してきているが、なかなかコロナ禍以前に戻ることは難しいのかもしれないと感じている。そのような中でご存知の通り、今年度は8月から、七葉地区の新発田市コミュニティバスで、地域内の買い物支援を目的としたデマンドバスの運行や、10月からは豊浦地域で新たな公共交通の運行を開始している。

また、新たな利用促進の取り組みとして後ほど事務局から説明があるが、キャッシュレス決済システムの導入や、バス位置情報表示のエリア拡充を進めてきた。いずれもすぐに定着するわけではない。まずは市民の皆様にご協力いただくことが重要である。周知などをしっかり進めていきたいと考えているので、効果的な方策のアドバイスなどを含め、今後ともご協力をお願いいたします。

本日、令和3年の最後の会議も有意義な会議となりますよう活発なご審議をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

### (3) 議 事

#### ○議長

まずは、本日の会議であるが、規約第9条第2項の規定により、過半数以上の委員の皆様から出席いただいているため、会議が成立していることをご報告申し上げます。

#### 【第1号議案】新発田市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

(資料1について)

- ・路線バスの利用実績は前年度から3,240人減少の52,027人であった。計画策定時から路線数が変わっており、目標値の再設定及び運行内容の見直しが必要となっている。
- ・コミュニティバス（菅谷・加治、川東）の年間利用者数は前年度から13,753人の減少の78,976人であった。高校の休校などの影響によるもの大きい。
- ・路線バス利用者1人当たり運行経費は前年度から22円減少の1,258円となった。利用者数は減少しているが、新谷線の廃止により運行経費が下がったことにより経費が抑えられた。
- ・コミュニティバス利用者1人当たり運行経費は前年度から215円増額の1,141円となった。

利用者の減少と特に川東コミュニティバスの修繕費の増額などの影響によるものである。

- ・あやめバス（市街地循環）の年間利用者数は前年度から 11,628 人減少の 63,905 人となった。4 月～6 月に大きく利用者が減少し、その後も減少が続いた。
- ・全体的に目標値と実績値が乖離している状況から、評価指標及び目標値の設定について検討する必要がある。

（資料 2 について）

- ・全事業数は 44。
- ・実施中は 22、一部実施は 18、未実施が 4 となった。
- ・事業 3-7 の「IC カード導入の検討」が未実施から実施中になった。令和 2 年度にコミュニティバスのキャッシュレス決済システムの開発に向けて、事業者と協議を始め、3 年度に入りシステム開発を進めている。

#### ○委員

達成状況の評価基準で通常の実績不足、あるいは地域にあわない形態により数値が下がっている場合であれば当然に納得できるが、従来の基準にない新型コロナウイルスの関係で相当減っている。そういう特殊事情も評価の中に組み込まざるを得ないのか。

#### ○事務局

地域公共交通網形成計画の中では、目標人数が年度ごとに定められていて、それに対して評価している。新型コロナウイルスの影響というのは考慮すべき事象ではあるがそれを踏まえた上で評価している。

#### ○委員

備考欄にもコロナのことがあるがそれを踏まえた上で、数値上はそうなるということか。

#### ○事務局

その通りである。

その後質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第2号議案】地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について  
事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

(あやめバス事業評価)

補助対象事業者等	新潟交通観光バス株式会社
事業概要	あやめバスの外回り・内回りで申請番号の1～7
前回の事業評価結果の反映状況	市内6高校の新生にパンフレットを配布、動態調査結果をもとにした運行内容の検証、コモタウンの待合所設置、市街地への待合ベンチ設置などを行った。
事業実施の適切性	評価を「A」とした。
目標効果達成状況	事業の目標は3つのうち2つ達成のため評価を「B」とした。
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が戻っていないと考えられる。
事業の今後の改善点	パンフレット等の作成・配布で利用促進を継続する。動態調査の結果をもとに運行内容を検証する。あやめバスの車両入替を行いより利用しやすい環境を整備する。

(川東コミュニティバス事業評価)

補助対象事業者等	新潟交通観光バス株式会社
事業概要	川東コミュニティバスの申請番号の8～13
前回の事業評価結果の反映状況	バス停掲示物の工夫などの検討、検討部会での運行内容の検証の継続、停留所の新設や移設をして安全に通学できるよう環境整備をするなどを行った。
事業実施の適切性	評価を「A」とした。
目標効果達成状況	事業の目標は2つとも達成したため評価を「A」とした。
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元年度の水準に戻る勢いになっている。
事業の今後の改善点	バス停掲示物や車内掲示物の工夫を図る。住民と一体となり運行内容の検証・見直しを行う。利用状況を確認しながら実態に合わせた運行を行う。

(バリアフリー化設備等整備事業)

補助対象事業者等	株式会社下越タクシー
事業概要	福祉タクシーの導入
前回の事業評価結果の反映状況	福祉タクシーを1台導入した。
事業実施の適切性	評価を「A」とした。
目標効果達成状況	目標を達成したため評価を「A」とした。 新発田市内の福祉タクシーは4台から5台になった。

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

**【第3号議案】川東コミュニティバスの運行ルートの一部変更について**

主な説明内容は以下のとおり。

- ・岡田大日堂前停留所の待合場所において、交通事故の危険性があるということで地元の自治会から要望があがった。
- ・変更する便は運行番号34（新発田駅7時35分発～川東小7時52分着）の1便のみ。
- ・「高浜・あやめの湯」から「下岡田」までのルートを食品団地内を通るルートに変更する。
- ・令和4年2月1日から変更する。
- ・利用料金と運行ダイヤに変更はない。

○委員

この路線はフィーダーの補助対象路線か。

○事務局

後ほど確認する。（確認した結果フィーダー補助路線対象外）

その後質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

**【報告1】コミュニティバスのキャッシュレス決済システム及びバスどこエリア拡大の進捗状況について**

主な説明内容は以下のとおり。

- ・これまでにバス車両にカード読み取り機を設置して動作確認を行ってきた。
- ・利用方法は車内のカード読み取り器にかざす専用 IC カードと QR コードを読み取って利用するスマートフォン方式の2種類。
- ・料金は事前にチャージしてから使うプリペイド方式。
- ・チャージできる場所は観光協会、川東コミュニティセンター、菅谷コミュニティセンター、市民生活課、市民まちづくり支援課の5か所。
- ・キャッシュレス決済システムは2月1日から運用開始予定。
- ・バスどこ？のエリアを川東コミュニティバス、新発田市コミュニティバス、まつうら号にも拡大する。

**【報告2】市街地循環バス車両の入替について**

主な説明内容は以下のとおり。

- ・老朽化が進んでいる車両2台を令和4年度中に入れ替える。
- ・執行予定額は2台で52,055千円。
- ・予定車両の乗車定員は33名で中乗・中降式。
- ・デザインは落谷虹児作品の「おやゆびひめ」と「いっすんぼうし」を継承する。

### 【報告3】 書面協議の結果について

主な説明内容は以下のとおり。

(乗合バス路線「藤塚浜・金竜橋線」の運行ルートの一部変更について)

- ・地域からの要望によりルートを変更するもの。
- ・全ての委員から承認をいただいた。
- ・市ホームページなどで周知を行ったのち、令和3年10月1日から新ルートで運行している。

(令和3年度補正予算(案)について)

- ・豊浦地域において路線バスの月岡・乗廻線から新発田版デマンド方式へ切り替えるため令和3年度予算を変更するもの。
- ・全ての委員から承認をいただいた。
- ・10月20日から本田・天王号、中浦・荒橋号として運行を開始している。

5 その他  
特になし

6 閉 会